東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2300回例会　2014.3.6

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
清水例会運営委員

■点鐘：野村会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
當麻パスト会長

■お客様紹介：
町田パスト会長

◆ゲスト：
加藤米子元当会会員

■会長報告　野村会長

皆さんこんにちは。しばらくお日様のない日々が続いていましたが、久し振りに日差しが戻ってきましたが、まだ風は冷たいです。健康管理には十分気を付けて下さい。私の自宅の前に公園があり、毎年今頃になると土蛙が地上に出てきて池で求愛行動をします。毎夜姿形に見合わない可愛い声で鳴き合い、翌日の朝には寒天状の卵が沢山水中にあります。

さて、昨晩第9回理事・役員会がありましたので、お知らせします。2月度収支明細報告が金子会計からあり了承されました。その他には東村山市緑を守る市民協議会について、当会の賛助会員としての在り方について協議の結果、今年も賛助会費3万円を支出する事、次年度以降の協力体制については石山幹事に一任する事といたしました。内容としては、当クラブから人員の派遣という事になります。後もう一つは、回覧をしました名古屋守山ＲＣ50周年記念式典への参加について、参加についてはあくまでも有志としての参加ですので、交通費及びゴルフ等の費用については、すべて個人負担とし、出席についてはメイクアップ扱いとしました。以上ご報告いたします。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：
・Ｒ財団寄付の礼状の受理と13～14年度12月末地区特別寄付報告の受理
地区資金推進委員長より
Ｒ財団年次基金寄付→日本34地区中1位に
・2013～14「賞・表彰」の件について
ＲＩ会長賞：締切3月31日

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

■東村山地区交通少年団：
東村山交通少年団入退団式の案内について
2014年3月26日(水)　11:00～
於　東村山警察署

■東村山市緑を守る市民協議会：
春の緑の祭典プログラム印刷にかかわる広告内容の確認及び平成26年度賛助会費の納入のお願いについて
「春の緑の祭典」 4月29日(祝)におけるプログラムへの広告掲載の会長名の確認→連絡済
賛助会費のお願い→理事会にて

■例会変更：
所沢中央ＲＣ　3/17(月)→例会取消　他

■回覧：
バギオだより
所沢中央ＲＣ会報

■出席報告　北久保例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	20	0	7	74.07

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：1名
■前々回出席率メークアップ修正後：96.00%
■前々会メークアップ者：
相羽会員：バギオ
飯田会員：地区インターアクト
漆原会員：朝霞ＲＣ
金子会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　西河クラブ管理委員

■ご結婚祝月：
小町会員、當麻会員
田中会員

■会員誕生祝月：
隅屋会員

■令夫人誕生祝月：
相羽会員、戸澤会員
石山会員

◆野村会長、石山幹事：
加藤商事(株)代表取締役社長、加藤宣行様、本日の卓話よろしくお願いします。ご同行の元ロータリアン加藤米子様、ようこそお越し下さいました。
◆樺澤会員：加藤米子様、ようこそお越し下さいました。加藤宣行様、卓話よろしくお願いします。
◆赤木会員：加藤様、本日の卓話大変ありがとうございます。本日は2300回の記念例会です。これも何かのご縁ですね。よろしくお願い致します。
◆田中会員：加藤商事(株)加藤社長様、今回は楽しみにお待ちしてました。よろしくお願いします。西河支店長、初めてのニコニコ発表元気良く頑張って下さい。
◆町田会員：加藤米子様、宣行様、本日はようこそいらっしゃいました。宣行様は我がクラブに、ぜひともご入会を心からお待ちしています。

本日のニコニコ合計：　34,000円
累　　計　：1,070,324円

■委員長報告

■中丸会員研修副委員長

今月は識字率向上月間です。すべての人たちに識字能力をとして、まずは13Pをご覧ください。今月のロータリー財団の基本方針を紹介しております。
18Pからは次年度のＲＩ会長ゲーリーＣ･Ｋ･ホァンさんのＲＩの指定記事が載っております。一昨年帝国ホテルで開催した地区大会で会長代理ということでご挨拶をいただいております。20Pには「会長任期

の大半を旅先で費やすことになりますが、特にどの地域に注目していますか？」というところで「日本へのサポートです。日本は会員増強において大きな課題に直面しており、変化が必要とされています。日本のロータリアンは本当にすばらしい人たちです。」と意見が載っておりますのでお読みください。

22Pからは国際協議会のレポートが載っております。さらに26P、「ようこそ！シドニーへ」ということで、今年の国際大会開催のシドニーで、先日地区大会で駐日オーストラリア大使が記事を寄せております。

34Pは我が2580地区の吉田ガバナーが出ておりますので、ご覧ください。

右開きのページから、4Pには、川口淳一郎小惑星探査機はやぶさプロジェクトマネージャーこの方が茨城で地区大会の講演をされたそうなんですが、これを読みますとなるほどなという文章が随所に見られますので、是非お読みいただければと思います。

■野村（裕）歩こう会会員

第五回東京東村山ＲＣ　歩こう会

「武蔵国分寺跡、お鷹の道　歴史散歩」
お花見も兼ねて、武蔵国分寺跡、お鷹の道を散策しましょう

日時：平成26年4月12日（土）　※雨天中止
集合：国分寺駅構内コンコース（西武線ＪＲ連絡改札口の先の広場）
（参考）東村山駅8:44発→国分寺駅8:55着
武蔵大和駅8:37発→国分寺駅8:51着
コース：ＪＲ西国分寺駅前9:00→東山道武蔵路跡→国分寺楼門、寺跡→国分寺文化財資料展示室（尼寺のＶＴＲと説明）→10:00「おたカフェ」（珈琲タイム）、史跡資料館→真姿の池湧水、お鷹の道→11:00都立殿ヶ谷庭園→11:30国分寺駅南口着<昼食会場：日本料理「いらか」（国分寺エル9階）>

大勢の皆様のご参加をお願いします。

■田中クラブ管理委員長

野村会長年度、家族親睦旅行を5/15（木）～16（金）で実施いたします。
趣旨：東日本大震災の惨状及び復興の状況を気仙沼市を中心に視察し、人生の修行の場とする
大勢の皆様の参加をお願いします。後日ご案内、参加の有無を回覧します。よろしくお願いします。

■卓話

■卓話者紹介：
村越プログラム委員長

■卓話者：
加藤商事（株）代表取締役
加藤宣行様

地球を守る
－持続可能な社会を目指して－

私達を取り巻く環境は、いろいろな面で危機に瀕しています。世界各地で起こっている相次ぐ森林伐採による自然の破壊、人類の様々な活動によって引き起こされる大気汚染や水質汚濁、石油などのエネルギー源をどんどん消費することによって排出される二酸化炭素が原因となって起こる地球温暖化などが生じています。

また、人間の活動は自然の働きでは分解しにくい人工の化学物質をたくさん使っており、それが環境へ悪影響を及ぼしています。

さらに、世界各国は、人間が廃棄する膨大なゴミの処理に大変な苦労をしています。まず、最初に、私たちにとってかけがえのないこの地球の歴史について述べてみたいと思います。その後で様々な環境問題について、どうすればよいのかを一緒に考えてみましょう。

第一章：地球カレンダー

まず、地球の生い立ちの話をしたいと思います。地球カレンダーというのを作りました。地球が誕生してから今日までの46億年の歴史を1年のカレンダーに縮小したのが地球カレンダーです。
46億年前、地球カレンダーでは元旦の午前0時、宇宙の片隅で地球が誕生しました。誕生したばかりの地球はマグマと水蒸気の層に覆われた生命のない星でした。

2月のはじめ、表面のマグマが冷め、大気が冷やされると、水蒸気は水になり、雨となって地球にふりそそぎ、地球を覆う海をつくりました。3月の下旬、水の中で最初の生物体が生まれました。その後の地球の変化のスピードはとてもゆっくりとしており、海の中でより高度な多細胞生物が登場したのは最初の生物が登場してから約半年後の9月末のことでした。

生物の進化のスピードは徐々に早くなり、11月23日（5億年前）、魚類が出現し、その3日後に生物の陸への進出が始まりました。12月中旬から下旬にかけてあわただしい動きが出てきました。12月3日に脊椎動物が陸へ上がり、11日に恐竜時代が始まり、16日

に哺乳類が登場し、19日に鳥類が出現しました。
その後、恐竜の全盛期を経て、恐竜が絶滅したのは12月26日の午後8時17分頃です。恐竜や巨大な植物の時代を経て、哺乳類の時代となったのは1年の終わる3日前のことでした。そして、現在の人類の祖先がアフリカに登場したのは大晦日31日の14時30分。人類の時代は1年のうちのたった10時間弱にしかすぎません。
ワットの蒸気機関が発明されたのは1765年です。それから目覚しい産業革命が起きました。それを地球カレンダーでみますと、産業革命が起きたのは31日、大晦日の23時59分58秒となります。現在の我々の近代文明は1年の地球カレンダーの最後の2秒間です。
冒頭に申し上げましたように、現在、地球の温暖化、化学物質による健康被害、水質汚濁、大気汚染そして自然環境の破壊さらに廃棄物処理の問題－こういった様々な環境問題が起きていますが、こうした地球の環境問題というのはすべて地球カレンダーで言いますと最後の2秒間の出来事なのです。
この最後の2秒間で、地球は人類によってまさに滅亡の危機にさらされたのです。私達人類は大変恐ろしいことをしている、このかけがえのない生命の星をたった2秒間で滅ぼそうとしていると言っても過言ではありません。そのように考えますと、環境問題の本質が見えてくるような気がします。

第二章：低炭素社会をめざそう！

1.地球温暖化のしくみ

様々な環境問題の中で、最も深刻なのは地球温暖化の問題であると思います。そこで、まず、地球の未来を危うくする地球温暖化の仕組みを簡単に説明しましょう。地球温暖化とは地球の温度が上昇することですが、その原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスが増えていることであると考えられています。
温室効果ガスとは、皆さんが呼吸をした時に吐き出す二酸化炭素や、冷蔵庫やクーラーなどで使われているフロンなどのことですが、これにはいくつかの種類があります。メインはやはり二酸化炭素です。もちろん、皆さんの深呼吸が一番の原因ではなく、石炭、石油などの、いわゆる化石燃料を燃やすことにより排出される二酸化炭素が温室効果増大の主役です。
現在、地球の平均気温は約15℃ですが、もしも地球上に温室効果ガスがなかったとすれば、平均気温はマイナス19℃になると言われており、生命の存在できない非常に寒い星となってしまいます。
太陽から届く光は大気を素通りして地表面（地面）で吸収され、地表面を温めます。そして温められた地表面から熱が赤外線の形で放射されます。温室効果ガスはこの熱を吸収し、また、吸収した赤外線の一部を再び下向きに放射して、地表面や大気を再び加熱するという仕組みにより生物の生存に適した気温に保つことが出来たのです。
ところが、産業革命以来、人間活動の活発化に伴って、石炭、石油の消費が増え、化石燃料の燃焼に伴い、次第に大気中の二酸化炭素の濃度が増加してきました。その結果、熱の吸収量が増えて、気温が上昇してしまう、これが地球温暖化です。つまり、化石燃料の消費とそれによる二酸化炭素の大気中の増加が地球温暖化の主な原因なのです。　過去100年間で世界の平均気温は0.74℃上昇しています。最近50年間の気温上昇傾向は、過去100年間のほぼ2倍になっています。
気候変動に関する政府間パネル（ＩＰＣＣ）では、1980年から1999年までに比べ、21世紀末（2090年から2099年）の平均気温上昇は1.1～6.4℃と予測しています。

現在のような温暖化は過去にもあった？

地球はこれまで、寒冷な長い期間（氷期）と温暖な短い期間（間氷期）を繰り返してきました。現在は間氷期にあたり、温暖な時期が1万年ほど続いています。それでは、現在の温暖化現象も、過去の地球の気候変動と同じものとして扱うことができるのでしょうか。
ＩＰＣＣの報告書では、以下のように記述されています。
「過去100万年で最大の温度変化は、氷期と間氷期の間の4～7℃の平均気温の変化であるが、これは約5000年をかけての穏やかな過程であった。したがって、現在の地球の気候変動の程度が、過去の変動と比べてはるかに急激で異常であることは明らかである。」
過去の気温変化が5000年かけて7℃（100年あたり0.14℃）であったのに対し、最近100年間の気温上昇は0.74℃、今後100年ではさらなる気温上昇が生じることが予測されています。現在の温暖化は、これまで人類が経験したことのないほど、急激な温度上昇を引き起こす可能性があるのです。「非常に短期間でしかも急激である」ということが最大のポイントです。

2.地球温暖化の影響

温室効果ガスの増加により気温が上昇し、そのため、海水の体積が膨張、南極及び北極の氷がとけて、海面が上昇することが予想されています。海水の蒸発が増加し、それによる集中豪雨が起こるなど異常気象も予想されています。
また、温暖化が進むと冬季に降る雪が雨となり、降雪量が減少し、積雪によって守られてきた植生や春先の雪解け水を利用していた農業などに影響を与えると予測されています。地域的な降水量の減少や海面上昇による河川からの取水障害などによって水利用が困難になることも考えられます。
現在でも世界人口の3分の1にあたる17億人が潜在的に水不足となる可能性がある国に住んでいるとされていますが、2025年には、この数が人口増加や取水の増加により50億人に増え、さらに温暖化により水不足が一層深刻化するという予測もあります。また、気温上昇はマラリアなどの感染症の増加につながるものと見られています。
急激な気温上昇は、多くの人間や生物が今まで住んでいた場所に住めなくなってしまう、という現象を次々と作ってしまうのです。

■閉会点鐘：野村会長

■第9回(3月度)理事・役員会

2014年3月5日(水)
於　たきび　18:30～19:30

【議　　題】
1.2月の収支明細報告について
　金子会計より、2月の収支報告がありました。
→承認されました。

2.東村山市緑を守る市民協議会より賛助会費のお願いについて
　野村会長より、東村山市緑を守る市民協議会への賛助会費をどうするかについて、審議の結果、先方が例会での挨拶もなしに賛助会費のみを払う行為がややおかしいとの指摘もありましたが、今年は例年通り30000円を負担し、来年以降どうするかについては、石山幹事に一任ということで決まりました。
→承認されました。

3.名古屋守山ＲＣ50周年記念式典参加における費用負担について
　石山幹事より、4月16日(水)に開催される名古屋守山ＲＣ50周年記念式典参加にあたり、当初新幹線で各自集合という話で進みましたが、バスで名古屋を往復することに決まりました。
　また、往復バスを仕立て、1泊し、翌日の懇親ゴルフという流れの中で、費用負担も大きく、東村山ＲＣより11人が参加する行事となっていますので、登録料並びにバス費用の一部を、会から負担できないのかという提案を審議ました。審議の結果、現在の所なんら関係のない名古屋守山ＲＣ式典への参加に対しては有志での集まりであるとの認識から、会長・幹事の登録料含め、完全自費での参加という形で決まりました。
(バスの費用の細かい仮費用の報告が相羽会員よりされました)
→承認されました。

4.今年度の親睦旅行について
　田中クラブ管理委員長より、今年度の親睦旅行についての途中経過についての発表があり、あらためて田中クラブ管理委員長が中心となりこの旅行を楽しいものにして大成功に導いていくとの再確認をしていただき、日程については5月15・16日で旅程表案が提出されました。
(訪問先：宮城県気仙沼、宿泊ホテル：気仙沼プラザホテル、東京からの移動手段：未定、新幹線もしくはバス)
→承認されました。